

## 授業概要

現代日本社会では、「宗教」という言葉にはネガティブなイメージがつきまわっています。宗教は何か怪しげで、危険で、自分には関係ないと思う人が少なくありません。そして、この傾向は一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラーム）に対してことさら強いものとなります。それは、われわれが一神教にあまりなじみがないからだと言われています。しかし、一神教世界は長い歴史を持ち、さまざまな魅力にあふれています。みなさんのなかにはある宗教を信仰している方も、そうでない方もいるはずで、神社やお寺に行って願い事を祈るというような、もっと漠然とした信心を持っている方も多いでしょう。宗教学とはその誰もが宗教を学ぶための学問です。この授業では、①宗教学の考え方、②三つの一神教の歴史と現在、③現代社会における一神教世界の諸問題、という三つの主題を扱います。一神教についての学びを通じて、自分とは世界観や価値観の異なる「他者」を知ることの重要性を理解し、ひとりひとりが自分なりの意見や考えを持つことをめざします。

## 授業計画

第1回	宗教学とはなにか 宗教学という学問の基本的な発想について導入的な概説をおこなう
第2回	宗教を分類する 世界に存在するさまざまな宗教をどのように分類できるのかを学ぶ
第3回	ユダヤ教① ユダヤ教の概略と成立について学ぶ
第4回	ユダヤ教② 現代社会におけるユダヤ教の多様化について学ぶ
第5回	キリスト教① キリスト教の概略と成立、カトリック世界と東方正教会世界について学ぶ
第6回	キリスト教② 宗教改革以降のキリスト教世界の展開について学ぶ
第7回	イスラーム① イスラームの概略と成立について学ぶ
第8回	イスラーム② イスラーム世界が直面する近代化について学ぶ
第9回	中間到達度チェック（三つの一神教について）および、日本と一神教世界についての概説
第10回	共同体 一神教の宗教共同体とその生活実践について学ぶ
第11回	教典 一神教の教典の内容とその役割について学ぶ
第12回	聖地 一神教の聖地とその歴史について学ぶ
第13回	暴力 宗教や宗派の違いがもたらす暴力の問題について学ぶ
第14回	共存 宗教間対話の試みや異宗教の共同体の共生について学ぶ
第15回	まとめ 一神教世界の展望について考察する
第16回	筆記試験

## 到達目標

- ・宗教学の基本的な発想、および各宗教内部の神学や教学との違いを説明できる。
- ・ユダヤ教、キリスト教、イスラームの概略と歴史を説明できる。
- ・現代の一神教世界において生じている問題について知り、自分の意見を述べることができる。

## 履修上の注意

授業全体の見通しや評価方法についての説明を初回におこないます。また、知識や考えの定着のために、ノートを取ることを習慣づけましょう（ノート PC に入力する形でも構いません）。期末の筆記試験ではノートのみ持ち込み可とするので、あとで復習できるようなノートの作成を心がけましょう。

## 予習・復習

本講義のテーマに関連する入門書や参考文献が多数出ています。授業内でも随時案内するので、関心を持ったらずひ積極的に読んでみましょう。また、インターネットも積極的に活用しましょう。授業内容にかんする質問は各回の講義の前後、リアクションペーパー、Eメールなどでも随時受け付けます。

## 評価方法

毎回授業後提出のリアクションペーパー（30%）、中間到達度チェック（20%）、期末筆記試験（50%）によって総合的に評価します。

## テキスト

- ・教科書は指定せず、必要な資料は各授業内にプリント形式で配布する。
- ・本講義に関連の深い概説書を二点挙げる。  
『信じない人のための〈宗教〉講義』（中村圭志著）、『一神教とは何か』（小原克博著）